

## 技術・家庭科（技術分野）

技術・家庭科（技術分野）について、以下の観点に基づき、発行社ごとに教科書を調査・研究した。

### 選定の観点

- 1 技術・家庭科（技術分野）の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。
- 2 思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。
- 3 生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、創造性を育むものづくりや実践的・体験的な学習活動が充実し、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。
- 4 社会の変化に対応する視点から、技術と社会や環境との関わりについて理解が深まるよう配慮がされていること。
- 5 安全面・衛生面に対して十分留意できるよう配慮がされていること。
- 6 生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や、学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮がされていること。
- 7 題材構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮がされていること。
- 8 基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。
- 9 表記、表現について、図版の精度や色彩が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。

## 技術・家庭科（技術分野）

### 調査研究の結果の概要

#### ■東京書籍「新編 新しい技術・家庭 技術分野 未来を創る Technology」

生徒目線での学習目標の設定・表現や、巻末資料の構成など、基礎的な知識・技能の定着を図るための効果的な工夫がなされている。また、生活の中での体験や知識と学習内容を関連付ける動機付けを図り、問題意識を高める中で、「考えてみよう」「話し合ってみよう」など、思考力・判断力・表現力を高めるための言語活動を促す工夫が充実している。

設計の場面では、実習題材を豊富に設け、P D C Aサイクル（計画，実行，評価，改善）の流れの中で、ものづくりをしながら、段階を踏んで問題解決的な学習が実践できる構成が統一されており、生徒が解決の手ごたえを感じながら、意欲的に学習を進めていくことができる。

自ら技術を活用することも踏まえ、社会的・環境的・経済的な側面において、プラス・マイナスの両面から技術を評価するよう構成されており、社会や環境との関わりを意識しながら、技術のあり方について考察を深めていくよう工夫されており、優れている。

冒頭のガイダンス、本文中の「技術の匠」、巻末の「人や社会、環境のために」などにおいて、様々な職業で働く技術者が紹介され、その役割や思いを紹介することで、職業観・勤労観の育成につながるよう配慮がされている。

情報を安全かつ適切に活用するための情報セキュリティや情報モラル学習については、事例や解説、資料が充実しており、道德教育との関連も図りながら、具体的な行動につながるよう工夫がされている。

「選定の視点」の評価結果：◎17 ○10 △0

#### ■教育図書「新技術・家庭 技術分野」

基礎的・基本的な知識・技能の習得を図るため、製作題材の写真を製作工程ごとに大きくわかりやすく示すとともに、「基礎技能・知識」マークにより、基本となる技術の習得が図れるよう工夫されているが、製図に関しての作図手順が示されておらず、作図技能の習得という点で不十分である。

プログラムによる計測・制御に関して、基本的な仕組みを把握できるよう身近な製品を取り上げて、生徒の理解を図っているが、プログラミング言語を活用した展開が中心となっており、生徒にとって難易度がやや高い。

主題材を通して、製作の手順や加工の仕方等が順を追って示されており、生徒が主体的に学習活動に取り組みやすく、また、「材料と加工」の設計の場面では、模型を製作することで、問題を発見し改善を図るといった具体的な手法が示されており、実践的な学習活動の展開を通して問題解決を図ることができるよう工夫されている。

材料と加工に関する技術においては、「強さへの挑戦」という視点から技術と社会や環境との関わりについて考えさせるとともに、巻末では日本で生まれた技術を日本地図上で示すなど、先端技術と伝統工芸の関連や技術と社会や環境との関わりについての理解が深められるよう配慮され

ている。

作業上の安全については、随所にマークや留意事項が示され、注意・喚起の配慮がなされているが、学習前の実習等にかかる安全・衛生については記載されておらず、安全に対する心構えとしての自覚や予測を高めるための配慮が不十分である。

情報セキュリティや情報モラル学習について、記載や資料内容がかなり少なく、知的財産の保護等を含め、学習教材が不足している。

「選定の視点」の評価結果：◎0 ○24 △3

#### ■開隆堂 「技術・家庭（技術分野）」

学習項目ごとに目標が明示されるとともに、振り返りの場面では、自分の考えや気づきを文章でまとめるよう提案され、言語活動を促しながら、基礎的・基本的な学習事項の確かな定着を図る工夫がなされている。また、図版や写真等も見やすく、視覚的にも理解・習得が図れるよう工夫がなされている。

条件を変えたり、付け加えたりする項目の設定をはじめ、問題解決の手がかりとなる資料が豊富で、生徒が主体的に問題を解決しながら学習が進められるよう工夫されている。また、章末のまとめでは学習の振り返りに加え、「生活に生かそう」として、学習をより深め、実践的な態度を養えるよう構成されている。

本文の随所に技術と環境との関わりについて記述されており、循環型社会や持続可能な社会について、常に技術と関連を考えながら学べるように配慮されている。また、章末ごとの評価・活用に加え、3年間の技術の学びから、よりよい社会の構築に向けて、現在および未来における技術のあり方について考えるページが設定されるなど、持続可能な社会の構築への意識を高める工夫が充実している。

巻頭のガイダンスにおいて、小学校での学びと中学校の学習との関連が明確に示され、また、技術の学習と生活とのつながりを考えるための工夫がなされている。

情報セキュリティや情報モラル学習については、具体的な事例が充実しており、生徒の意識を高めるとともに、「話し合ってみよう」として言語活動を促すことで、身近な問題として捉え、学習を深める展開となっている。

「選定の視点」の評価結果：◎8 ○19 △0

※詳細の結果・データは、観点別資料及び観点別・視点別評価資料に記載。

観点別資料 一技術・家庭科（技術分野）一

【選定の観点1】

技術・家庭科（技術分野）の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。

発行社名	2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○学習のまとめりに「目標」「はじめの活動」「まとめの活動」が設けられ、基礎的・基本的な知識・技術が習得できるよう工夫されており、目標においては、「～知る、～できる」という生徒目線での表現により、学習を促し、学習の終わりにまとめとなる簡単な活動例を示し、学習の定着を図るなど、優れた工夫がなされている。</p> <p>○工具の使用法や作業手順などの基礎的な技能が、「基礎技能」のページにまとめて掲載されており、生徒が検索しやすく常に繰り返し・振り返りができることで、知識・技能の習得を図っており、優れている。</p> <p>○図版・イラスト・写真等が、適切な量と大きさで見やすく配置されており、視覚的にも学習内容の理解につながるよう配慮されている。特に生物育成では全て写真で手順が示されており、わかりやすい。</p> <p>○巻末索引に、基本的な語句が掲載されるとともに、章末ごとのまとめでは大切な用語が一覧にされ、学習の定着を図る工夫がなされている。また、巻末資料にコンピュータの基本操作と各内容の重要用語の解説がされており、生徒の基本的な知識・技能の定着を図るため効果的な構成となっている。</p> <p>○プログラムによる計測・制御の学習は、実生活で活用されているシステムの仕組みをなぞらえるような展開で、学習の意義が実感でき、知識の習得が図れるよう工夫されている。</p>	<p>○まとめりに学習する内容が示されており、各編の終わりには、「まとめ」と「章末問題」が設けられ、学習の振り返りが自ら確認できることで、学習の定着を図る工夫がされている。</p> <p>○製作題材の写真を大きくすることで、製作工程をわかりやすくし、基本となる技術の習得が図れるよう工夫されている。</p> <p>○材料と加工、および生物育成に関する技術においては、「基礎技能・知識」のマークが設けられており、基礎的・基本的な知識・技能の定着が図れるよう配慮されている。</p> <p>○巻末の索引に基本的な語句が示されており、生徒が検索しやすく常に振り返りができるとともに、「巻末資料」に工具の使用法やデジタル用語など4つの内容の資料が示されるなど、知識の定着を図るための工夫がなされている。</p> <p><u>○必要な図法は記載されているが、作図の手順について示されていないため、技能の習得という点で不十分である。</u></p> <p>○プログラムによる計測・制御に関して、基本的な仕組みを把握できるような身近な製品を取り上げて、生徒の理解を図っているが、<u>プログラミング言語を活用した展開が中心となっており、難易度がやや高い。</u></p>	<p>○学習項目ごとに「学習の目標」が明記され、学習のまとめりの最後には「振り返り」が設けられるなど、学習の定着を確認するための工夫が優れている。</p> <p>○各編の「学習のまとめ」では、基礎的・基本的な知識・技能の定着と、「生活に生かそう」の項目では、具体的に生活への応用ができる構成となっており、学んだことを実践することで、学習の定着がより図れるよう工夫されている。</p> <p>○図版・イラスト・写真等がわかりやすく、視覚的にも学習内容の理解につながるよう配慮されている。</p> <p>○巻末の索引に基本的な語句が示されるとともに、章末にコンピュータの基本操作の資料がまとめて掲載されるなど、基本的な知識・技能の定着を図るための配慮がなされている。</p> <p>○プログラムによる計測・制御の実習では、考え方とフローチャート、プログラムの3つを対比させて示され、生徒が理解しやすいよう配慮されている。</p>	

【選定の観点2】

思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。

発行社名	2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○節の最初に課題が提示されており、生活の中での体験や知識と学習内容を関連付ける動機付けが図られ、問題意識を高める中で「考えてみよう」「話し合ってみよう」などの発問により、思考力・表現力・判断力を高めるための言語活動を促す工夫がされている。</p> <p>○各単元の終わりに「評価と活用してみよう」として、使いやすいうわ</p>	<p>○身の回りの問題を解決する製品の設計と製作、生物育成の立案、プレゼンテーションの練習やフローチャートの作成などにおいて、工夫・創造する能力を育むため、思考力・表現力・判断力を高めるために「考えてみよう」などで、言語活動を促すための工夫がみられる。</p> <p>○生徒の話し合いを喚起するような内容が設けられており、言語活動を</p>	<p>○事前学習的な課題が提示され、課題意識を高める工夫がされており、振り返りの場面では、自分の考えや気づきを文章でまとめるようになっており、言語活動により理解を深める工夫が優れている。</p> <p>○言語活動につながる「考えてみよう」「話し合ってみよう」などの項目が各節ごとに設けられ、さらに効果的にイラストや吹き出しを設け、生</p>	

<p>クシートが掲載されており、学んだ技術を適切に評価し、生活に結び付けた活用につながるよう工夫がなされている。</p> <p>○技術分野特有の言語である「製図」「回路図」「フローチャート」がバランスよく配置され、作成の仕方や活用例が丁寧に詳しく示されていることで、自分の構想を形にしやすいよう工夫がなされ、優れている。</p> <p>○「技術のてんびん」というマークが示され、章末だけでなく普段の学習の中で学んだことを、自分なりに評価し活用する学習活動を繰り返し行うことで、思考力・判断力・表現力を高める工夫が随所にみられる。</p> <p>○題材に合わせた話し合いのテーマや資料が提示され、発表においては制作品発表の実践例を挙げながらレポートやプレゼンテーションにおける手順や留意点が詳細に示されており、言語活動の充実のための工夫が優れている。</p>	<p>促し、コミュニケーション能力が高められるよう配慮されている。</p> <p>○デジタル作品の制作においてプレゼンテーションが提示されており、表現の工夫の仕方や発表方法の手順が具体的に示され、言語活動の充実が図られている。</p>	<p>徒がより具体的に話し合いやすいように工夫されている。</p> <p>○情報の手順を表すための技術特有の言語であるフローチャートにおいて、活用例を多く示し、「探究」や「？」の項目によって、論理的な思考力や表現力等が深められるよう学習展開が工夫されている。</p> <p>○デジタル作品の制作・発表においては、発表の仕方についても充実しており、技術面だけでなく聞き手を配慮した具体的な方法や留意点が示されるなどの工夫が多くなされている。</p>
--	---	---

【選定の観点3】

生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、創造性を育むものづくりや実践的・体験的な学習活動が充実し、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。

発行社名	2 東書	6 教図	9 開隆堂
	<p>○設計の場面では、問題解決の基本となるPDCAサイクルの流れを、統一的に示しており、ものづくりをしながら問題解決能力を育成できるよう工夫がなされ、優れている。</p> <p>○実習例ではイラストや吹き出しに発問やヒントが添えられ、生徒目線で主体的に実習をしながら、問題解決的な学習を行うための工夫が優れている。</p> <p>○内容ごとに工夫された実習例が豊富で、製作工程がすべて示されているため、作業の進め方やポイントなどが明確で生徒が主体的に学習を展開しやすくなっている。</p> <p>○「私の工夫」という生徒の工夫例が示されており、ちょっとした工夫から新しいアイデアが生まれることを体感しながら、創意工夫する力が高められるよう工夫されている。</p> <p>○「生活に生かそう」という項目が設けられ、学習したことを自分自身の生活の中に生かすための工夫が優れている。</p>	<p>○生活に生かせるような主題材を通して、製作の手順や加工の仕方、工具の使い方等が順を追って示されており、主体的に学習活動ができるよう配慮されている。</p> <p>○設計の場面では、描いた構想をもとに、模型を製作し、問題点を発見して改善をはかるという実践的・体験的な学習展開が示され、ものづくりを通して、生徒の問題解決能力を高める工夫がされている。</p> <p>○生徒が主体的に学習する際のヒントとなるよう「コツマーク」が付されている。</p>	<p>○実習例が豊富で、バランスよく掲載されており、条件を変えたり付け加えたりする項目の設定により、生徒が進んで問題解決的な学習に取り組めるよう、よく工夫されている。</p> <p>○問題解決の手がかりとなる資料としての「参考」が豊富に掲載され、生徒自身が主体的に問題解決的な学習に展開しやすいよう工夫されるなど優れている。</p> <p>○主題材を例にして、実際の作業手順や作業方法が、系統的に丁寧に記述されており、生徒が主体的に学習を進めやすいよう工夫されている。</p> <p>○実習例には手順がわかりやすく示されており、製図や回路図等も見やすく、特にフローチャートにおいては記号ごとに色分けするなど生徒の理解を高めるための配慮がされている。</p> <p>○章末の学習のまとめでは、学習の振り返りだけでなく、「生活に生かそう」として、学習を深め、確実に定着させるための活動を促すなど、充実している。</p>

【選定の観点4】

社会の変化に対応する視点から、技術と社会や環境との関わりについて理解が深まるよう配慮がされていること。

発行社名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○「技術と社会、環境との関わり」について、冒頭「ガイダンス学習」や巻末「学習を終えて」で、持続可能な社会を支える技術の役割が明確に提示され、よりよい未来を築くために技術と環境との調和や社会との関わりを考え、生活を工夫し創造するための配慮が、教科書全編に見られ、優れている。</p> <p>○各編末には、学んだ技術と「環境」「経済」「社会」との関わりが項目別にわかりやすく示されており、3つの側面から技術の評価し、活用を考えていく構成で、生徒の理解を深め、自分なりの活用方法を考えやすいよう工夫されており、優れている。</p> <p>○各編末「評価と活用」では、設問を評価と活用の分けた工夫されたワークシート例が掲載され、技術の評価と活用の流れがわかりやすく、学習の充実を図るための配慮が優れている。</p> <p>○情報に関する技術に関しては、編全体としてプラス面マイナス面を考えていく構成となっており、情報技術の評価と活用の意識を一層高められるよう工夫されている。</p> <p>○「環境マーク」が随所に示され、環境と資源、暮らしの調和の視点から技術を考えることができるよう配慮されている。</p>	<p>○「強さへの挑戦」という他の教科書にない項目をつくり、社会や環境との関わりについて理解が深められるよう工夫されている。</p> <p>○エネルギー変換と生物育成に関する技術の章末で、学んだ技術と社会や環境との関わりから、持続可能な社会の実現に向けて技術の評価し、活用を考えるよう学習展開が図られるなど工夫されている。</p> <p>○巻頭口絵で「人類は技術とともに進化してきた」ことについて、写真を付けて紹介することで、技術や社会や環境の関わりについて理解を深められるよう配慮されている。</p> <p>○巻末の「世界に誇る日本の技術」で、バイオテクノロジーによる青バラの開発やウナギの完全養殖など日本で生まれた世界に誇る技術と、日本の歴史的建造物や伝統製品をあわせて、日本地図上に写真でわかりやすく示すことで、先端技術と伝統工芸の関連や技術と社会や環境との関わりについて考え、理解が深められるよう配慮されている。</p>	<p>○社会の変化に対応する視点から、冒頭のガイダンス学習では、技術の果たしている役割と課題が明確に提示され、3年間の学習における技術と環境の関わりへの意識と関心を一層高めるための工夫が優れている。</p> <p>○本文の随所に、技術と環境との関わりについて記述されており、循環型社会や持続可能な社会について考えながら学べるよう配慮されている。</p> <p>○技術分野の学習の出口として、よりよい社会を築くために社会的・環境的・経済的の3つの側面から社会の形成と発展に寄与する態度を育てる学習活動が配置されており、社会や環境に対しての関わりについての理解が一層深められるよう十分に配慮されている。</p> <p>○本文の随所に「環境マーク」が示されるとともに、各章末の学習のまとめの後にコラムが配置されるなど、環境についての意識を高め、循環型社会・持続可能な社会に対応するための態度の育成に向けた工夫が優れている。</p>

【選定の観点5】

安全面・衛生面に対して十分留意できるよう配慮がされていること。

発行社名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○安全上特に気を付けるべき事項が冒頭にまとめて示されており、安全への予測や意識を高めるための配慮がされている。</p> <p>○実習において、安全な作業の方法や、事故防止のポイントが見やすい「安全マーク」で示されており、注意喚起の配慮が随所にみられる。また、健康に影響を与えるような作業においては「衛生」マークが重ねて示されるなど、優れている。</p> <p>○巻末に「防災手帳」が付録されており、学習したことを生かして防災・減災の意識が高められるよう配慮されている。</p>	<p>○「注意」というマークで、作業上の安全について注意を喚起している。また、基礎技能の項目の中にも、安全に対しての留意事項が含まれており、安全に対して配慮されている。</p> <p>○<u>学習前の実習等にかかる安全・衛生について記載がされておらず、安全・衛生に対しての生徒の意識や自覚を促すことにおいて不十分である。</u></p>	<p>○作業中の事故防止のために、ガイダンスの中に項目を設け、安全に対する心構えとその対応が示されるとともに、本文の作業場面には大きく「安全マーク」を付して、作業に即した注意点を生徒が意識できるよう配慮されている。</p>

【選定の観点6】

生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。

発行社名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○ガイダンスで、社会の中でのものづくりが紹介されたり、「技術の匠」では、社会の中で技術を担う人々を豊富に詳しく紹介することを通して、勤労観・職業観の育成が図られるよう工夫されており、優れている。</p> <p>○巻末に、技術を人や社会、環境という視点で、様々な職業で働く人々の技術への思いが紹介されており、職業観・勤労観の育成につなげるとともに将来においての関わりを考えるための工夫が優れている。</p> <p>○「発展」「資料」マークで、生徒の興味・関心に応じて学習が深められるような内容が豊富に示されるなど、発展的な学習につなげる工夫が優れている。</p> <p>○すべてのページ下にQ&amp;Aをバランスよく配置するなど、生徒の知的好奇心を喚起し知識を深めるとともに、探究意欲を高めるための工夫がされている。</p> <p>○他社にはない技術の学習を深めるための「技術のとびら」では、内容が整理されてわかりやすく示されており、生徒の興味・関心を高めるとともに、発展的な学習へつながりやすい。</p>	<p>○ガイダンスにおいて、技術史を概観できる年表や様々な技術が取り上げられ、勤労の尊さや意義が理解できるよう配慮されている。</p> <p>○「調べよう」「やってみよう」「考えよう」を本文中に組み込み、自ら探究できるよう工夫されている。</p> <p>○プログラミングの学習では、やや難易度の高いライントレースカーのプログラム制御が取り入れられ、生徒の学習段階に応じて発展的な学習が進められるよう考慮されている。</p> <p>○各章末の「評価と活用」の学習で、将来における社会の課題解決のための技術について考えるよう配慮されている。</p>	<p>○ガイダンスにおいて、世界で活躍する日本の技術について紹介したり、勤労者へのインタビューを掲載するなど、技術開発のすばらしさや様々な職業に関する理解が深められるよう工夫がされている。</p> <p>○すべてのページ下に、「まめ知識」が記載され、生徒の知識を深めるよう工夫がされている。</p> <p>○技術分野の出口「技術とわたしたちの未来」という項目が巻末に設けられ、これからの生活や社会の中で、技術を評価し活用するための能力や態度を育み続けていくことができるよう工夫がされている。</p> <p>○学んだ技術について、これからの自分たちの生活や社会の中で生かしていくため、振り返りやまとめを行う学習課題が設定され、学習を進展させる配慮がされている。</p> <p>○「探究」という項目で、持続可能な社会の実現に向けて技術を評価し活用する場面が設けられ、学習の発展性への工夫が見られる。</p>

【選定の観点7】

題材構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究（キャリア）教育等の教育課題との関連について配慮がされていること。

発行社名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○ガイダンスから基礎的・基本的な知識・技術、製作・制作・育成、技術の評価・活用までの構成が、全ての内容で系統立てて統一されており、生徒にとっては学習の見通しが立てやすく、指導者にとっても指導しやすく、優れている</p> <p>○「リンク」「他教科」「道徳」「小学校」マークがそれぞれ豊富に設けられ、他教科、他校種の内容との関連付けが明確でわかりやすく、学習をつなげ、その定着や深まりを図るための工夫が優れている。</p> <p>○「環境」「情報モラル」「伝統文化」「防災」「消費者」などのマークが示され、学習内容との結び付けが図られている。</p>	<p>○単元ごとに、導入から基礎的・基本的な学習内容、実習題材、まとめ、章末問題で構成され、系統的な学習展開に配慮されている。</p> <p>○エネルギー変換に関する技術と生物育成に関する技術の学習の最後に、持続可能な環境と生物育成と環境・社会のつながりの視点から、課題を考える場面が設定され、環境と技術について理解を深めるよう配慮されている。</p>	<p>○ガイダンスにおいて、「生活や社会における技術の役割」が整理されるとともに、小学校での学びとこれからの技術の学習との関連が明確に示されるなど、学習と生活とのつながりを考えて学べるよう工夫されており、関心・意欲を高める工夫が優れている。</p> <p>○「リンクマーク」が随所に付され、関連項目のページが示されていることで、生徒がすぐに振り返れるよう配慮されており、理科や社会科、保健体育科との関連についても学習項目が示されている。</p> <p>○「環境」に関連する事項については環境マークが付されており、技術と環境や資源、エネルギーなどに関連付けて考えるよう配慮されている。</p>

【選定の観点8】

基本的人権の尊重及び道徳性の育成の観点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。

発行社名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○本文にアクセシビリティやユニバーサルデザイン、色覚特性の個人差への配慮に関する記述がされており、人権尊重の視点を持って学習が進められるよう配慮されている。</p> <p>○各章のすべてに、他社にはない「道徳」との関連をマークにより示されており、学習者の意識を高め、道徳教育の内容と関連付けた学習ができるよう配慮されている。</p> <p>○情報を安全かつ適切に活用する能力を高めるため、図やイラスト、最新資料等を豊富に掲載するなど、情報モラルに関する内容が充実しており、優れている。また、道徳教育との関連も図りながら、学習者の具体的な行動につながるよう工夫されている。</p>	<p>○生物育成にかかる鶏や牛の飼育において、生命尊重や勤労の尊さ、意義についての理解を深められるよう配慮されている。</p> <p>○ユビキタス社会やSNSなど、情報化が進んだことによる現象について取り扱われているが、<u>2ページのみ</u>の記載であり、<u>情報セキュリティや情報モラル・知的財産の保護等</u>についての学習教材が少ない。</p> <p>○デジタル作品の制作において、ビデオ撮影時等におけるプライバシーへの配慮に関する記述がされている。</p>	<p>○高齢者や障がいのある人への配慮の必要性からバリアフリーやユニバーサルデザインが本文や写真等で取り上げられ、また、「だれもが分かりやすい表現を考えよう」という参考資料でwebページを例にしたアクセシビリティを高める具体例を示すなど、人権教育との関連が図られている。</p> <p>○情報モラルについては、情報モラルと情報セキュリティの2項目に整理され、具体的な事例が数多く紹介されており、身近な問題として生徒の意識を高めるための配慮が優れている。</p> <p>○情報を安全に活用する視点から、各節ごとに「話し合ってみよう」という設問が設定され、生徒が身近な問題として捉え、学習を深められるよう展開が工夫されている。</p>

【選定の観点9】

表記、表現について、図版の精度や色彩が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。

発行社名		
2 東書	6 教図	9 開隆堂
<p>○縦B版横A版サイズが使用されており、写真や図表、イラスト等の配置に無理がなく、大きさ・バランスともに見やすく、活用しやすい。また、章ごとに色分けされ、爪見出しは高さを変えているので、実習例と基礎技能がすぐに検索しやすいよう配慮されるなど優れている。</p> <p>○丸ゴシック体の振り仮名が使われ、ユニバーサルデザインフォントが採用されるとともに、すべての生徒の色覚特性に適應するように配色やデザインなどユニバーサルデザインに配慮がされている。</p> <p>○特別支援教育の視点から、ものづくりの手順などページをめくる方向と同様に読み進めるレイアウトにされている。</p> <p>○再生紙、植物性インキを使用し、造本も堅牢である。</p>	<p>○ユニバーサルデザインフォントが採用され、字の大きさも適当で読みやすく、簡潔でわかりやすい文章表現である。また、目に優しく見やすいよう配色などユニバーサルデザインに配慮がされている。</p> <p>○導入、図、本文等のレイアウトを固定するなど、支援が必要な生徒が学習しやすいよう配慮されている。</p> <p>○再生紙、植物性インキを使用し、造本も堅牢である。</p>	<p>○写真や図、イラストが豊富で、生徒が活用しやすい構成であるとともに、内容のまとまりごとに爪見出しの色を変え、生徒がどの部分の学習をしているかが、わかりやすいように工夫されている。</p> <p>○カラーバリアフリーデザインマークを取得見込みで、色覚の個人差を問わず見やすいなどユニバーサルデザインに配慮がされている。</p> <p>○見開き単位で小項目の学習が完結するようレイアウトされ、支援が必要な生徒にも活用しやすいよう工夫されている。</p> <p>○再生紙、大豆油インキを使用し、造本も堅牢である。</p>

選定の柱		選定の観点		選定の視点			東京書籍	教育図書	開隆堂
1	基礎的・基本的な知識・技能	1	技術・家庭科(技術分野)の目標を達成するために、基礎的・基本的な知識・技能等の内容の確実な習得を図るための工夫・配慮がされていること。	1	学習課題と目標の明示	◎	○	○	
				2	まとめと振り返りの工夫	◎	○	◎	
				3	基礎的・基本的な内容の定着	◎	△	○	
				4	基本的な語句や重要語句の明示	○	○	○	
2	思考力・判断力・表現力等	2	思考力・判断力・表現力等を育成し、言語活動の充実を図るための配慮がされていること。	1	発問や内容の提示	○	○	○	
4				言語活動の充実	◎	○	◎		
3	学習意欲	3	生徒が意欲的・主体的に学ぶことができるよう、創造性を育むものづくりや実践的・体験的な学習活動が充実し、問題解決的な学習活動が展開しやすいこと。	1	実習例やものづくりの手順の提示	◎	○	○	
5				生涯にわたって学び続ける力 (問題解決的な学習、探究能力の充実)	2	問題解決的な学習活動の展開	◎	○	◎
				3	生活に活かすための工夫	◎	○	◎	
6	各教科独自の観点・他教科等との関連	4	社会の変化に対応する視点から、技術と社会や環境との関わりについて理解が深まるよう配慮がされていること。	1	生活や社会での技術の役割の理解の工夫	◎	○	◎	
				2	社会的、環境的、経済的に技術を評価する能力の育成	◎	○	○	
				3	持続可能な社会の構築に関する学習内容の工夫	◎	○	◎	
6	各教科独自の観点・他教科等との関連	5	安全面・衛生面に対して十分留意できるよう配慮がされていること。	1	安全・衛生への自覚を促す工夫	○	△	○	
				2	安全・衛生への着目点の提示	◎	○	○	
5	生涯にわたって学び続ける力 (問題解決的な学習、探究能力の充実)	6	生涯にわたって学び続ける態度を育めるよう、探究意欲を高める工夫や学んだことを活用して、さらに発展的な学習につながるよう考慮されていること。	1	勤労観、職業観の育成	◎	○	○	
				2	将来にわたって技術を評価し活用する能力と態度の育成	○	○	○	
				3	自主的・発展的な学習の工夫	◎	○	○	
6	各教科独自の観点・他教科等との関連	7	題材構成の系統性・発展性や他教科、道徳、総合的な学習の時間、特別活動、他校種、また、環境教育、情報教育、生き方探究(キャリア)教育等の教育課題との関連について配慮がされていること。	1	題材構成における系統性・発展性	◎	○	○	
				2	他教科との関連	○	○	○	
				3	他校種との関連	◎	○	◎	
5	基本的人権の尊重・道徳性の育成	8	基本的人権の尊重及び道徳性の育成の視点からの内容が積極的に取り上げられ、人権教育や道徳教育の推進に向けて工夫や配慮がされていること。	1	人権教育の推進	○	○	○	
				2	道徳教育の推進	○	○	○	
				3	情報モラルの充実	◎	△	◎	
6	各教科独自の観点・他教科等との関連	9	表記、表現について、図版の精度や色彩が適切かつ正確で使いやすいことに加え、ユニバーサルデザインの観点から文字の大きさ、見えやすい色の使用及び紙面の構成などについて配慮がされており、造本についても装丁や編集が適切なものであること。	1	文字や写真、図表、挿絵の色や大きさ	◎	○	○	
				2	装丁や紙面のレイアウト	○	○	○	
				3	堅牢な造本	○	○	○	
				4	ユニバーサルデザインの視点	○	○	○	